

(仮称) 有明海沿岸地域振興会議 設立趣意書

我が国の総人口は、今後、減少することが見込まれており、特に、地方圏においては、地域経済の低迷や地域活力の低下などが懸念されている。

そうした中、隣接する自治体等が互いに連携・協力することにより、一つの自治体にとどまらず、地域全体としてポテンシャルを最大限に発揮し、活力と魅力あふれる地域を形成していくことが求められている。

豊かな自然に恵まれ、風光明媚な豊穰の海として全国に名を知られる有明海の沿岸地域は、九州佐賀国際空港の開港をはじめ、重要港湾である熊本港や三池港の整備、有明海沿岸道路や三角大矢野道路、島原道路などの地域高規格道路の開通が進むなど、広域的な交通ネットワークが形成され、有明海沿岸地域の人流や物流の更なる活発化が期待されている。

商工会議所や商工会においては、昭和29年に九州中部商工連合会が設立され、観光交流の促進や広域道路網の整備促進など、広域連携による取組みが進められている。

一方で、有明海沿岸地域は4つの県にまたがることもあり、沿岸全域を対象とした自治体の連携による地域活性化に向けた取組みは、これまで行われていない状況にある。

そこで、有明海沿岸地域の行政、経済界が共に手を携え、広域連携による地域活性化を一緒になって進めていくことが重要であり、これまで令和4年度、5年度と2回にわたり、当該地域のポテンシャルや今後の発展可能性を共に学び、再認識するため、「有明海沿岸地域振興フォーラム」を開催してきた。

今後も、有明海沿岸地域全体の魅力を高め、定住・交流・関係人口を増やし、その豊富な人材によって、地域の様々な産業が成長し、地域全体が持続的に発展していくといった好循環につなげていくことを目的とし、有明海沿岸自治体における広域連携に向け、「有明海沿岸地域振興会議」を設立することとする。

(仮称) 有明海沿岸地域振興会議 設立発起人

大牟田市長	関	好孝
大川市長	倉重	良一
みやま市長	松嶋	盛人
柳川市長	金子	健次
鹿島市長	松尾	勝利
島原市長	古川	隆三郎
荒尾市長	浅田	敏彦